

( No.5 八重山平和祈念館 )

|              |  |
|--------------|--|
| 校種、教科領域      | 公立・私立 小・中・高・特支・その他<br>教科 ( )・道徳・総合的な学習の時間・ <b>その他</b>  |
| 学校名(団体名)     | 八重山平和祈念館 (分館長 名城政広)  |
| 住所           | 住所：沖縄県石垣市新栄町79-3 TEL/FAX：0980(88)6161  |
| 連絡先          | Email：yaeyamaheiwamararia@basil.ocn.ne.jp  |
| 担当者          | (担当者) 主査：川上剛司、嘱託員：迎里円、眞榮田理那  |
| 主な実践事例       | ○「八重山平和祈念館 高校生平和ガイド養成講座」(平成26年2月～)   |
| 概要           | <p>八重山平和祈念館では、平成26年度(平成27年2月より)、「高校生平和ガイド養成講座」を実施している。受講対象は、八重山高校、八重山商工高校、八重山農林高校、八重山特別支援学校高等部となっている。3名の少ない職員体制のなか、祈念館の全職員が講師となり講座を実施。計4回の講座で基本的な知識を学習し、実習を通してガイドとしての経験を重ねて行った。最終的には、2名の高校生ガイドが誕生している。平成27年3月から、実際の来館者(学生、修学旅行生、観光客等)にむけて館内ガイドを行っている。ガイドの実践を通して、2名の高校生は地元の歴史や課題への理解を深め、その過程で将来の目標設定を明確化している。キャリア教育という視点でも、大変興味深い取り組みである。</p> <p>今回の実践事例紹介は、沖縄戦や八重山戦争マラリアの実相を伝え、平和の尊さを次の世代に語り継いでいくために、八重山平和祈念館職員が、地元の高校生に対して積極的な働きかけを行っている事例として紹介する。</p> <p>八重山平和祈念館では、地元学生の利用、とくに高校生の施設利用が少ないことが課題とされていた。また、戦後70年の節目を迎え、戦争マラリアの実相・教訓を次の世代に正しく伝えていくという設立理念を具現化するための取り組みをどのように図っていくかについて検討が重ねられていった。その中で、高校生による平和ガイドを養成することによって、同世代の視点からの平和発信を行うことに焦点が当てられた。高校生による平和ガイドを養成することで、設立理念の具現化を図るとともに、同世代の視点による平和ガイドを通して、より多くの高校生に戦争マラリアの実相について関心を持ってもらい、その教訓から学んでもらうことをねらいとしている。</p> <p>そのなかで平和祈念館の施設利用促進を図っていくことも相乗効果として期待されている。</p> |
| 添付資料         | <input type="checkbox"/> 実施要項・養成講座日程表 <input type="checkbox"/> 実践記録(写真、感想等)<br><input type="checkbox"/> 報道資料(協力：八重山毎日新聞)   |
| 当館との連携       | ○ 平和ガイド養成講座 ※県平和祈念資料館では平成16年～18年度実施  |
| シェアリングにおける視点 | ○ 次代の語り部(この事例では高校生平和ガイド)養成への積極的な関わり<br>○ 若い世代による同世代への平和発信<br>○ キャリア教育とも関連した平和教育のあり方  |